

和のまち

風通しの良い議会を目指して

議員報酬・議員定数の議論
いよいよクライマックスへ

- 02 カフェトークたいし
- 05 8月臨時会
- 06 9月定例会
- 08 決算委員会



1回目に参加された皆さん

～第3回「カフェ トークたいし」開催～

「議員報酬 議員定数を考える。」



／ 終了後にインタビューしてみました。／

住民と議員の意見交換会、「カフェトークたいし」を議会棟にて開催しました。9月13日の土曜日、12時30分からと15時からの2回の実施で、三連休にもかかわらず合わせて29人の方にご参加いただきました。

今回のテーマは議員の報酬と定数について。前号の議会だよりでご紹介したこの問題の背景を簡単に説明した後、以下のテーマに沿って各テーブルで話し合いました。

第1ラウンド 4人家族が太子町で生活するのに月額いくらが必要か(手当なし)

第2ラウンド どのような手当があるとよいか(必要か)

第3ラウンド 望ましい議員定数は何人か(多い方がいい?少ない方がいい?)

ラウンドごとに席が入れ替わり、
いろんな人との会話になります。
カフェにいるような自由な空気の中、
活発な意見交換が続きました。



話し合いの中から…

生活に必要な月額については25万円から50万円まで幅があり、子どもがいればその年齢にもよりますが、35～40万円とする意見が大勢でした。手当については、扶養や通勤、住宅に加え、子育てや介護に関する手当、仕事量に応じた手当、おしゃれ手当(服装費)などの意見が出されました。

現状の議員報酬(27万1千円)では少なく、太子町議会が以前に廃止した政務活動費もしっかりとした活動のためには必要ではないかとの意見がありました。その一方、報酬目当ての議員が出てこないか危惧する声も。

定数については、多様性確保の観点から現状維持が望ましいとする声が多くある中で、主に財政の面から、報酬を増やすのであれば必要な範囲での削減はすべきとの意見も聞かれました。

カフェトークの様子は、9月15日付の神戸新聞朝刊に掲載されました。



黒田登志一さん

様々な意見を聞く良い経験。町政や議会にさらに興味が湧いた。
責任の重さを考えると報酬は少ないのではないかと。今、1名欠員で74人。これを定数としての報酬アップが現実的。



大西孝幸さん

議員のリアルな意見も聞け、有意義だった。今回の意見をまとめ、良い町政に。議員報酬は少ないと感じる。若い人がチャレンジできるよう35万円ぐらいに。定数は少し多い。12名程度で。



出田和子さん

カフェトークは新しい試み、議員や議会を知るきっかけになる。
議員を減らし負担が多くなれば、新しいことをするエネルギーが失われる。住民に説明し納得してもらうことが必要。



土井勝彦さん

良い経験ができました。
議員報酬はアップ、議員定数は現状維持。



菅野恵子さん

さまざまなお話を伺うことができ、大変有意義な時間だった。
太子町のために真摯に取り組まれている様子が町民にしっかりと伝われば、報酬アップは理解してもらえるのではないかと。



是川賢一さん

議員の生の声、学生の意見、町民の率直な声が聞ける良い機会だった。
限られた予算の中で報酬や手当を考えると、1～2名の削減。様々な方が真剣に考えている。住んで良かったと思えるまちづくりをみんなで一緒に頑張りたい。



2回目に参加された皆さん

多数のご参加、
ありがとうございました！

主な審議結果を解説

令和7年第5回臨時会は8月5日に開催し、2件の議案が提出されました。
また、令和7年9月定例会は8月27日に開会し、29日間行いました。
提出された計35件の議案などを慎重に審議しました。
主な審議結果を解説します。

8月
臨時会



●議案第53号 工事請負契約の締結について（太子町総合公園陸上競技場4種公認更新工事（その1））

開場から20年以上経過した陸上競技場が改修されます

公益財団法人日本陸上競技連盟（以下、（公財）日本陸連）の公認を維持するため、これまでも5年ごとに施設改修を実施してきました。今回は、4種公認検定基準を満たすため、トラックの全天候型舗装や跳躍用の踏切板の整備など競技フィールドを更新します。また、写真判定機の整備、音響システムの改修及びメインスタンドトイレの洋式化も行います。

全員賛成
により可決

公認の認定って？

（公財）日本陸連が定める規定を満たすように競技場を整備し、5年ごとに認定を受けます。当該施設で出された記録は、公認記録として扱われます。

西播磨では太子町と赤穂市に陸上競技場があります。全天候型舗装を備えているのは当町のみということもあり、主に小中学生の陸上競技大会や練習等で使用され、多くの利用者で賑わう施設となっています。

契約の情報

- ・契約業者 (株) 西川組
- ・契約金額 1億8,293万円（税込）
- ・完成予定 令和8年3月25日

※独立行政法人日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ助成金及び緊急防災・減災事業債を活用しています。併せて財源確保のため、現在クラウドファンディング型ふるさと納税を実施しています。受付期間は、令和7年12月29日までです。

クラウドファンディング型
ふるさと納税▶



●議案第54号 工事請負契約の締結について（太子西中学校北校舎等トイレ改修工事（その2））

太子西中学校の北校舎とプール棟のトイレが洋式化されます

太子西中学校のトイレ改修は、令和6年度と令和7年度の2カ年に分けて実施される計画となっていました。今年度は、北校舎及びプール棟のトイレ改修を実施し教育環境の充実を図ります。これにより、同校の洋式化率は、100%となります。（昨年度は南校舎のトイレを改修しています。）

全員賛成
により可決

契約の情報

- ・契約業者 (株) 丸尾建築
- ・契約金額 7,810万円（税込）
- ・完成予定 令和8年2月27日

※学校施設環境改善交付金の大規模改造トイレ事業として実施されます。

令和7年8月 臨時会議決結果

全員賛成で可決した議案等

議 案 名	
契約	工事請負契約の締結について（総合公園陸上競技場4種公認更新工事（その1））
	工事請負契約の締結について（太子西中学校北校舎等トイレ改修工事（その2））

議員の報酬と定数、私はこう考える

議員と議会のあるべき姿、なり手不足、社会・経済状況の変化、町財政とのバランス、住民の声の反映と議会機能の維持。様々な視点に立って、この問題を全議員で熟議して参りました。
カフェトークでの意見交換も踏まえ、それぞれの議員の今の思いを原文のまま記します。

報酬 若い人にも議員になってほしいので
議員報酬のみで生活できるレベルに。
定数 意見の多様性確保のため現状維持。

吉田智子

議員報酬について 増額すべきである。
議員定数について 現状維持の15か14名。

山本順久

報酬は5万円増と政務活動費を支給。定数は現状維持の15名。
報酬と定数はリンクさせない事が大事。

玉田晶久

27年間据え置き議員報酬。その間、議員定数は5人減で既に必要ミニマム。せめて政務活動費の復活を望む。

桑名幸夫

報酬は40万円。定数は13人（2減）。議員の活動量を増やすこと、偏りのある議員の役割を平準化することが条件。

松浦崇志

議会活動の充実を前提として、10万円程度の報酬増額と政務活動費導入を図る。定数は2減の13人が妥当。

出原賢治

議員報酬は、4人家族が生活できる35万円が望ましい。議員定数は、現状維持か1減が望ましい。

森田哲夫



報酬は現状維持!!年収460万円は安いとは思わない。
定数は2名減の13名。何ら不都合はない。

玉田正典

報酬は活動量調査の平均額相当の35万円。政務活動費を月額2万円。定数は議会改革の決意と予算を考えれば3減。

中数清志

報酬は専業で生活できる水準で、定数は14人が望ましい。多様な人材が輝く議会の実現に向け、意識改革が必要。

藤澤元之介

定数は1人削減し、同時に議長手当は半減し、特別委員会等の手当に回す。報酬は100万円程度（年額）上げる方向に。

清原良典

議員報酬はサラリーマン平均年収と同額とし、また議員定数は人財を確保するため今と同数で良いと考える。

中島貞次

議員のなり手不足解消が目的なら報酬は大胆に増額、定数も増やすべきだが、予算を考慮し安易な定数増は避けるべき。

堀 卓史

議員報酬は3～5万円アップし、規定を設けた上で政務活動費を支給する。定数は現状維持ないし、1名減。

首藤佳隆



カフェトークを終え、ファシリテーターの牧瀬稔先生（関東学院大学教授）、各テーブルの進行を務めていただいた牧瀬ゼミの学生さんたちと。

議会改革特別委員会では、次回の選挙（令和9年4月予定）で新たな立候補者が挑戦できるよう、制度を改める場合は今年度中を目標としています。今回いただいた貴重なご意見も参考に、10月中の合意形成を目指して、全員参加の下で協議を行って参ります。

**9月
定例会**

全員賛成
により可決

●議案第55号 一般会計補正予算（第4号）

環境影響の少ない太陽光発電設備の設置を推進し、温室効果ガスの排出の削減を図るため、自家消費型住宅用太陽光発電設備及び蓄電池を一体的に導入した場合の補助事業です。

町内で自ら所有し居住する新築・既築住宅

に太陽光発電設備（自家消費型）及び蓄電池を一体的に導入する者。※その他の条件については、町ホームページをご覧ください。

※本事業は、環境省の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金(重点対策加速化事業)を活用して兵庫県が実施するものであり、県補助率100%の事業です。



THP▲

物価変動や公平性の観点から、公共施設の使用料が見直されます。
新しい使用料は、令和8年4月1日から適用されます。詳しい料金は、
町ホームページでご確認ください。

なぜ見直すの？

- ・地域交流館
- ・創継町民体育館
- ・各地区公民館
- ・南総合センター
- ・丸尾建築あすかホール
- ・学校施設
- ・丸尾建築総合公園内各施設 等

- ・改定後の料金は、原則現行料金の1.5倍を上限
- ・一部施設で町外利用者について、割増料金を設定

これまで使用料は統一的な基準がなく、据え置かれてきました。物価や消費税率の変動、施設維持費の増加により、現状の使用料では、持続可能な公共施設の運営が困難になります。「公共施設等の使用料の適正化に関する基本方針」を策定し、公平性を確保し、サービス維持向上のため、適正化されます。



使用料改定の集約
トップページ▲

全員賛成
または
賛成多数
により可決

議案賛成者は「○」、反対者は「×」とします。退席者は「退」、欠席者は「欠」とします。
議長は「－」、議長に表決権はありません。

教育委員会委員の任命

現委員の杉本泰代氏（松尾
の任期満了に伴い、引き続き同
氏を任命したい旨の説明があり、
全員賛成により同意されました。
任期は令和7年10月1日から
4年間。

太子町まちづくり審議会の答申に基づき、各功労賞の表彰を行いたい旨の説明があり、全員賛成により承認されました。

自治功労賞 きたがわ北川 よしあき嘉明（新町）※令和7年5月8日没

社会功労賞 きよはら 清原 よしのみ 良典（広坂）

上森 俊正 (太子苑)

教育功労賞 佐久間成晴（新町）

スポーツ功労賞 井上 義昭 (米田)

令和6年度 一般会計決算の認定

136億3,350万円 歳出総額

9月8日から3日間、決算委員会を設置し、慎重な審査を行いました。

未来につなげる

～決算委員会からの報告～



★教育支援センター(みらいえ)運営事業

様々な要因により小中学校への登校が難しくなった児童生徒に対する支援を行う教育支援センターについて、トイレ整備等の機能拡充と更なる支援の充実が図られました。

決算委員会って??



議会(決算委員会)は、町のお金が1年間でどのように使われたかを審査し認定を行います。決算委員会では、今後に向けた改善点などを審査意見にまとめ、それは次の予算編成に活かされます。

★電気自動車等導入事業

公用車(ガソリン車)の更新に際し、電気自動車(3台)を導入し、二酸化炭素排出の削減や災害時の非常用電源の確保を図る。また、電気自動車用の充電設備(6箇所)が整備されました。



桑名 幸夫
委員

決算委員会を通じ、役場当局は限られた予算の中で尽力されておられることが理解できた。議員としては、更なるチェック機能の向上に努め、住民福祉の充実に寄与していきたい。



玉田 晶久
委員

子ども施策が充実した半面、高齢者に対する社会保険料などの負担が大きく生活が圧迫されている。各所にデジタル技術の導入で、逆に職員が振り回されないことを願う。

★防災行政無線第二期整備事業

令和5年度に実施した音達エリア改善の検討結果を踏まえ、子局の増設・移設及びスピーカーの種類変更や角度・向きの調整を行いました。



山本 順久
副委員長

防災行政無線第二期整備や防災倉庫整備などを計画的に進め、安全、安心なまちづくりを進めていることは評価する。

9月議会

令和6年度
一般会計決算を
議会が審査

決算委員会

〈審査意見〉

町長

令和6年度が
終わると、
決算書を作成
します。

- 予算は目的に沿って正しく執行されたか?
- 収入確保の努力は充分か?
- 補助金の効果は?

町長

令和8年度
予算に反映

令和8年度
一般会計予算を議会が審議

3月議会

★斑鳩保育所屋根・外壁改修事業

安全・安心な保育所運営を行うため、当該施設の屋根及び外壁を改修しました。



吉田 智子
委員

こどもえがお課ができ、住民は子どもに関する相談がしやすくなったと思う。子どもたちに対する支出は将来への投資であるため、今後もしっかり行っていくってほしい。



堀 卓史
委員長

時代の変化に対応したシステム改修や庁内の各部各課が横断的に連携を始めた年度。慣れない業務が多々あり苦勞の跡が伺えるが着実に対応していると感じた。



出原 賢治
委員

デジタル化関連経費が各課で増えているが、この流れはさらに続くと予想される。導入したシステムをいかに活用して住民福祉の増進に繋げるか、その視点が今後は大切になる。

令和6年度 一般会計決算委員会 審査報告書より



全般について

今決算における財政指標の変動は、懸案であった大型公共施設の整備や老朽化対応の結果であり、やむを得ない面もある。厳しい財政状況下ではあるが、健全性の維持に向けた努力を引き続き期待したい。事業執行にあたっては、国・県の有利な補助制度を積極的に活用し、限られた財源で最大限の効果を発揮する工夫が望まれる。行財政改革は一定の成果を上げており、今後も業務の効率化と住民サービス向上を目指した取り組みの継続を期待する。

歳入

町税は定額減税の影響で前年度を下回ったが、所得・企業業績の回復により概ね良好である。税負担の公平性確保のため、滞納整理を強化し、口座振替等のPRによる納税利便性の向上に努め、ふるさと応援寄付金の増額など、歳入の確保に努めること。

歳出

こどもえがお課創設による子ども・子育て支援の情報の一元化と連携は一定の成果を上げており、今後も全庁協力のもと柔軟で持続可能な支援体制を追求されたい。DXの推進は不可欠であり、住民福祉に資する形で導入すること。

予防医療(がん検診、予防接種など)を継続的に推進し、町民の健康維持を図ること。有害鳥獣対策として情報収集と関係機関との連携を強化すること。新規就農者の育成による農業振興に努めること。

あの日 あの時 あの質問
どうなった 以前の

あの答弁

以前の定例会での一般質問が、その後どのように反映されたかを追跡！

令和6年6月議会

質疑

子宮頸がん検診に HPV検査導入を

令和7年度以降の
導入に向けて
関係機関と協議していく

答并

その後

令和7年度新規事業として、
「HPV検査単独法による子宮頸がん検診事業」が始まりました。
 30歳以上の女性へHPV検査単独法を導入し、5年毎の検査で受診間隔を
 あけることで、受診者の負担を軽減し、リスク保持者を追跡管理することで、
 早期発見・早期治療を図ります。

自治体総合フェアでセミナー開催！

7月16日から3日間の日程で開催された第29回自治体総合フェア2025において、「ヤバい議会基本条例の制定とこれから～議会基本条例、一石投じて変わる百年先の議会～」の題目でセミナーを主催し、太子町議会とアドバイザー契約を交わしている関東学院大学の牧瀬稔教授と、議会改革特別委員会の正副委員長が参加しました。自治体総合フェアは官公庁や多くの企業・団体が出展・講演を行う展示会で、毎年延べ8,000人を超える来場者で賑わいます。

セミナーでは、和のまちをつくる太子町議会基本条例制定に関して出原副委員長が基調講演を行った後、議会基本条例の現状と課題に関して牧瀬教授が講演、最後に今後の展望について中菰委員長も登壇した3者によるパネルディスカッションを行いました。会場には全国の議会議員や自治体職員、メディア関係者が訪れ、太子町議会の取り組みを知ってもらいよい交流の場となりました。



7月17日、会場となった東京ビッグサイト



「和のまち太子」、全国に発信中！

セミナーの様子は、時事通信社の情報誌「地方行政」（第11397号、8月28日）で「議会基本条例に独自色」と紹介されました。また、ウェブマガジン「議員NAVI」にも投稿記事が連載中です（9月10日から6回）。

ザ
●
討論

9月定例会最終日、採決に当たり、次の内容で討論がありました。

令和6年度一般会計決算

反対
玉田 晶久 議員

国や県の悪政から町民を守る防波堤の役割を果たすべきだ。年金生活者などの高齢者は、高い社会保険料に苦しんでおり負担を軽減すべき。播磨臨海地域道路計画など無駄な大型事業から身近な生活インフラ整備へ転換を。

賛成
出原 賢治 議員

こどもえがお課の創設により組織間の協力と情報共有が進んだことは行財政改革の成果だ。重層的支援が求められている福祉分野に留まらず、多様化する住民ニーズに資する行政の在り方を引き続き検討されたい。

令和6年度水道事業会計決算

反対
玉田 晶久 議員

人口減少や少子高齢化で大幅に水需要が減少しており、今後その傾向が見込まれる。しかし、全体供給量の約15%で高い県水を購入しており無駄遣いとなっている。有収率の向上と、県水の購入を止める努力を求める。

賛成
玉田正典
議員

資金の流れに不安な点もなく、今後、施設の老朽化対策に一層の尽力を求めるものであり、健全な経営と判断し賛成する。

会計名	歳入総額	歳出総額	差引残額
一般会計	138億9,394万円	136億3,350万円	2億6,044万円

特別会計決算の状況 ※特別会計とは…特定の事業の歳入歳出を一般の歳入歳出と区別して別に処理するための会計

会計名	歳入総額	歳出総額	差引残額
国民健康保険	31億8,259万円	31億6,902万円	1,357万円
介護保険	27億4,430万円	26億8,408万円	6,021万円
後期高齢者医療	6億2,553万円	6億932万円	1,620万円
墓園事業	1,261万円	1,247万円	14万円

企業会計決算の状況 ※企業会計とは…地方公営企業法の適用を受けて独立採算を行う会計

区 分		収 入	支 出		
水道事業	収益の収支	5億3,640万円	5億2,784万円	(純利益)	321万円
	資本の収支	2,503万円	1億2,920万円	(不足額)	△1億417万円
下水道事業	収益の収支	13億3,121万円	12億38万円	(純利益)	1億2,785万円
	資本の収支	6億9,432万円	10億586万円	(不足額)	△3億1,154万円

※資本的収支の不足額については、「当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額」および「過年度分損益勘定留保資金」で補てん。



学校体育館への
エアコン整備の
早期実現を



まつうら たかし
松浦 崇志 議員

問 国は令和17年度までに公立小中学校体育館の空調設置率95%を目指している。学校体育館及び創継町民体育館の空調整備の今後の方針は。

答 熱中症対策の必要性から、できるだけ早い時期に小中学校の体育館に空調設備を設置していきたい。町民体育館については、具体的な時期は未定だが、災害時に避難所として利用することも考慮し、今後検討する必要がある。

問 文部科学省が試算方法を示しているが、当町における工事費の概算は。

答 1校あたり3,500万円～7,000万円である。ただし、これは空調機器導入のみの経費であり、受変電設備や断熱工事等と体育館の老朽化対策を併せて検討する必要がある。

問 空調設備が整備された場合、避難所としての役割以外にどんな活用を想定するか。

答 より集中して安全に、体育の授業や部活動が行える。また学校行事やPTA活動などでの利用も想定される。

問 体育館で活動するスポーツ少年団や社会人の団体からも設置を望む声が寄せられる。また、教育委員会も実施を望む事業であるので早期実現を求めるが、いかがか。

答 子どもたちにとっても、社会体育にとっても、避難所機能としても、早急に整備すべき事業であり前向きに優先的に考えたい。



空調設置事例（兵庫県教育委員会HPより）



狭あい道路の
解消に向けて



いではら けんじ
出原 賢治 議員

問 狭あい道路は幅が4m未満の狭い道で、全国的に解消に向けた取組みが行われている。町としてどのようなリスクを想定されているか。

答 救急車や消防車など、緊急車両の通行を阻害することが最大のリスクだ。日常生活における安全性や利便性も低下する。また、後継者の流出や転入見送りの一因ともなり、地域の人口減少や空き家の増加、活力衰退にもつながる。太子町にある町道の約15%が狭あい道路に相当する。

問 現在、道路後退用地を寄付される申請者には、測量・分筆に関する費用を補助（上限50万円）し、町が道路整備を行う制度が設けられている。地域のためにと寄付される方に対し、支援を拡充することはできないか。

答 令和元年から取り組んできた事業ではあるが、実施された例は少ない。検討すべき課題であると実感している。

問 「狭あい道路」自体がなじみの薄い言葉だ。町の補助制度について、メリットも含めて知ってもらうことが大切ではないか。

答 町の催しや地籍調査で地域に入る折など、積極的なPRを行い、制度の活用を促したい。



太子町狭あい道路拡幅整備事業のパンフレット「みらいへ道をひろげよう！」より



RSウイルスワクチン
接種費用の助成に
ついでの見解は



やまもと よりひさ
山本 順久 議員

問 肺炎を引き起こすRSウイルスは、新生児から高齢者まで幅広い年齢層で感染すると言われている。多くの場合は軽症で治まるが重症化する場合があり、発症したときの治療薬がないのが現状である。そのような中、新生児や乳児の感染を予防する母子免疫ワクチンと成人・高齢者向けのRSウイルスワクチンが令和6年から接種可能となった。しかしながら、接種費用は2万円以上と高額であり、任意接種のため全額自己負担である。予防医療の推進を図るためにも、接種費用を助成し、接種しやすい環境をつくることが重要であると考えが、当局の見解は。

答 母子免疫ワクチンは、妊婦の方に接種することにより母体内でつくられたRSウイルスに対する抗体が、胎盤を通じて胎児へ移行することで、出生後の乳児の感染を予防するものである。ワクチン接種の効果及び国、近隣市町の動向等について今後も情報収集をしつつ、接種費用の助成については検討を進めたい。

高齢者向けのRSウイルスワクチンについては、持続効果等のデータがまだ2年ほどしか無く、適正な頻度や接種時期が確立していないため、ワクチン接種の効果及び国や近隣市町の動向について今後も情報収集しつつ、接種費用の助成を検討していきたい。



RSウイルス感染症に対する厚生労働省からの注意喚起

一般質問

一般質問とは、議員が行財政全般にわたり、町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問したり、報告を求めたりすることをいいます。

太子町では、一般質問をする議員はその要旨（内容）を事前に町長に通告することになっています。
※通告の締切は、一般質問の日の約1週間前です。

通告内容（タイトル）は事前に町ホームページに掲載していますので、傍聴にお越しの前に質問内容をご確認いただけます。



定例会の日程



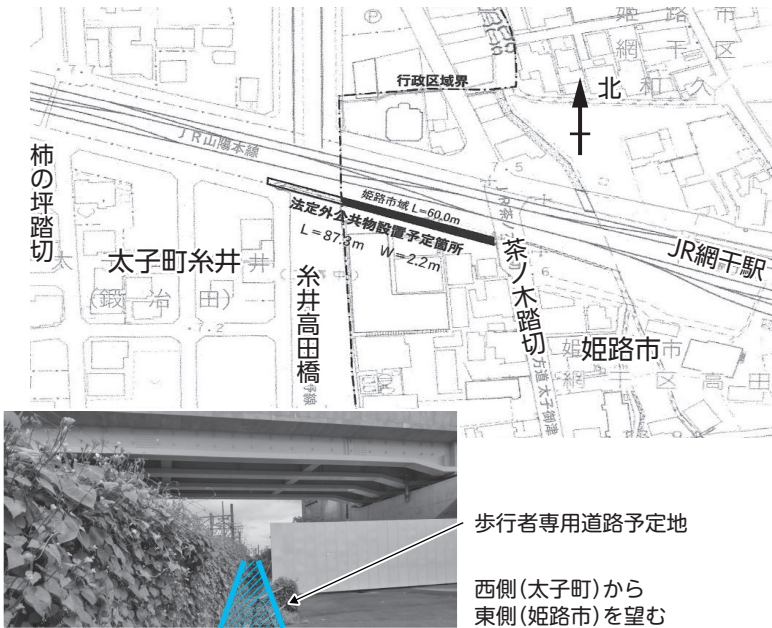
一般質問要旨



太子町管理の歩行者専用通路（幅2・2m 長さ87・3m）のうち姫路市内の区域（長さ60m）に設置することについて、姫路市と協議するに当たり議会の議決を求めるもの。

糸井高田橋完成後、柿の坪路切は撤去されるため、茶ノ木踏切までの歩行者用道路を建設する。しかし姫路市では4・5m未満の道路は管理しないため、姫路市内であるが太子町で管理するため

公の施設の区域外設置に関する協議について



歩行者専用道路予定地
西側(太子町)から
東側(姫路市)を望む

総務経済建設常任委員会

9月定例会 9月3日

付託案件審査

付託された条例6件、認定2件、その他1件の審査を行い全員賛成又は賛成多数により可決・認定すべきものとし、本会議で報告した。

課題調査

7月10日

「観光行政のあり方」

当局に出席を求め、①太子町観光事業の計画や目標・戦略について②太子町観光協会との関係の協議を行うもの。

係および連携について調査研究した。

8月14日

9月3日

「観光行政のあり方」について、県内外の観光施策先進地を調査研究し、県内視察先を加東市として、11月又は来年1月に行政視察を実施することとした。

福祉文教常任委員会

9月定例会 9月2日

付託案件審査

付託された条例11件、認定4件の審査を行い、すべて全員賛成により可決・認定すべきものとし、本会議で報告した。

課題調査

7月9日

「龍田小学校 特色ある学校づくりについて」

小規模特認校の定義やメリット・デメリットについて情報共有し、龍田小学校において、どのような特色を出すべきかについて協議をした。その中で出された疑問点については、正副委員長で教育委員会に確認して報告することとした。

8月13日

幼稚園設置条例（一部改正）

令和6年度から休園となっていた龍田幼稚園を令和7年度末に廃園とするため、所要の改正を行う。

龍田幼稚園区の方で幼稚園入園希望者があった

教育委員会管理課に確認した内容を説明し、意見交換をした。

町内の各小学校で実施されている特色ある教育活動プログラムや本委員会でも共有した内容を踏まえて、引き続き調査研究することとした。

小規模特認校導入の先



小規模特認校 募集要項（姫路市）

議会改革特別委員会

分科会を開催

議会ハラスメント防止

8月5日

ハラスメント研修

議員のハラスメント防止に関する研修として、「地方議会議員のためのハラスメント防止講座」（動画）を視聴しました。視聴後に「アンコンシャスバイアス（無意識の偏見）によって人を嫌な気にさせているかもしれない」などの感想が述べられ、改めてハラスメントに対する認識を深める機会となりました。

同日に「議員へのハラスメントに関する実態調査アンケート」を実施しました。



8月8日

実態調査アンケートの結果を受けて

- 議員間において、ハラスメントと思われる事例があることを共有した。
- ハラスメント防止のために、議員の意識改革の必要性や研修を継続的に実施していくことを確認した。

今後「ハラスメント防止宣言」を制定することとし、宣言案の作成と相談窓口の設置について調査研究することになりました。

議会BCP

7月11日

8月8日

9月17日

〈主な審議経過〉

どんな時に議会BCPを発動するか

震度5弱以上の地震や、気象警報が発令され中規模の被害が発生する恐れがある場合など、町災害対策本部が設置された場合に発動予定。

議会災害対策会議の構成と任務

正副議長、議会運営委員会正副委員長で構成し、最少人数を3名とし、満たない場合は各常任委員会委員長を補充しては。

町災害対策本部との連携や、議員の安否確認や議員の参集、本会議や委員会の開催などの任務を想定。

議員、事務局、議会の基本的な役割

業務に従事する時の注意事項

上記については、下記の時期の具体的な行動基準を策定中です。

- ①初動活動期（発災から3日程度）
- ②応急活動期（4日～7日程度）
- ③復旧活動期（8日～1カ月程度）

今後は、分科会として今年中の成案に向けて協議を進める予定です。

※BCP(Business Continuity Plan)とは、災害などの緊急事態であっても、業務を適切に進めるために備えておく計画のことです。

太子町! あれこれピックアップ♪

南総合センター 交流盆踊り大会

夏休みも残すところ1週間という土曜日の夕方、
南総合センターにおいて27回目となる盆踊りが開催されました。



南総合センターの盆踊りは、塚森自治会の皆さんや石海小学校のふれあい教室の子どもたち、交流学習講座の講座生の参加により開催されています。



スーパーボールすくいやくじ引きもあり、子どもたちが列を作っていました。最初は踊りの輪に入る人が少なかったのですが、時間が経つにつれ、多くの人が踊りの輪に加わり、交流学習講座のカラオケ講座生が歌う播州音頭によって、思い思いに踊りを楽しんでいました。



太子町では、かつて多くの自治会で盆踊り大会が催されていましたが、今では開催する自治会は少なくなりました。

南総合センターの交流盆踊り大会は貴重なものとなっています。

9月末に放送が終了したNHKの朝ドラ“あんぱん”。その中に「何のために生まれて何をして生きるのか」とのフレーズがありました。南総合センターは人権啓発の拠点です。月に1度、「人間の生き方講座」が開催されています。自分の生き方や人権について考えるため、「人間の生き方講座」に参加してみませんか。

あなたの「声」を お聴かせください

議会だよりを読んだ感想などを
議会事務局までお寄せください。
分かりやすく親しみやすい紙面
づくりを心がけていきます。

		編集	
		広報広聴委員会	
委員	副委員長	委員長	
堀 出原	吉田	山本	松浦
順久	晶久	崇志	卓史
		賢治	智子

議会傍聴にお越しください

12月定例会のお知らせ

11月28日(金)	提案説明
12月 1日(月)	一般質問
12月 2日(火)	一般質問
12月 4日(木)	議案質疑
12月19日(金)	討論・採決

※都合により変更になる場合があります。



朝夕の風に、ふと秋の
気配を感じるようになりました。皆さまはいかが
お過ごしでしょうか。
9月定例会では、令和
6年度決算や公共施設の
使用料の改定を伴う条例
など多くの議案を審議し
ました。
住民の皆さまへの情報
や今進めている議会改革
の内容を丁寧に発信して
参りますので、最後まで
読んで下さいね。
(山本順久 記)

編集後記

